

【様式1】

令和6年度 授業改善推進プラン

東久留米市立本村小学校 第1学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none">市販のワークテストの結果、促音・長音・拗音などの表記を正確に書くことに課題がある児童が20%程度いる。市販のアセスメントの結果、音読をする際、読み飛ばしや読み間違いのある児童が30%程度いる。休み時間に図書を利用している人数を調べた結果、読書に関心が低い児童が30%程度いる。	<ul style="list-style-type: none">授業始めの「5分タイム」で、表記に関する習熟プリント等を繰り返し練習をし、丁寧に書いたり、形を捉えたりできるようにする。文字探しやクロスワードなど、楽しみながら文字に触れる機会を増やし、90%程度の児童が正しい平仮名の表記を習得できるようにする。範読を聞いたり音読をしたりする際には、文章を指で押さえさせ、児童の90%に読み間違いがないようにする。週に一度は図書室に行く時間を確保し、ゆっくり読書したり、読み聞かせを聞いたりして読書に関心をもてるようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none">市販のワークテストの結果、文章題を解く際、足し算と引き算を混同している児童が30%程度いる。市販のワークテストの結果、10の数の構成理解が難しく、10までの足し算・引き算がスムーズにできていない児童が20%程度いる。	<ul style="list-style-type: none">立式の際は、文章の中の「あわせて」や「のこりは」など、和を求めるのか差を求めるのかが分かる言葉を意識させる。自分の考えを表す場面で、図を描いてイメージを深めて立式する習慣を付けさせ、90%程度達成できるようにする。計算カードを使い、数に親しむ経験を積ませる。視覚的に数を捉えられるように、半具体物を操作する活動を意識的に取り入れる。
生活	<ul style="list-style-type: none">生活科のワークシートの結果、体験したことや、観察して気付いたことを表現することに課題がある児童が30%程度いる。	<ul style="list-style-type: none">表現活動に慣れさせながら、他教科との連携を図り、技能を高める。表現することの楽しさを味わわせ、80%程度の児童が楽しんで表現できるようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none">東京都統一体力テスト意識調査の結果、体を使って遊ぶ経験が少ない児童が30%程度いる。学校生活アンケートの結果、休み時間にすすんで外で遊ぶ児童は70%程度である。体育のふりかえりカードの結果、ルールを理解できず、うまく活動に参加できない児童が20%程度いる。	<ul style="list-style-type: none">体育の時間に遊具で体を動かす時間を確保し、遊びながら運動できるようにする。ルールを簡単なものにしたり、ルールを段階的にステップアップしたりすることで、どの児童も楽しく運動に参加できるようにする。